

# はじめに

香川県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、その保存と活用を図り、県民の文化的向上に資するため、昭和62年11月1日に設置されました。

令和3年度は、国道バイパス建設、県所管国道整備、県道整備、笠田高校改築に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び、国道バイパス建設、県所管国道整備、県道整備、養護学校建設に伴う発掘調査の整理、報告書刊行をはじめ、出土品の保管、讃岐国府跡調査事業、地域総合調査研究事業などを実施しました。そして、これらの調査や整理によって得られた多くの成果をもとに、展示や体験講座、考古学講座などの普及啓発業務を行い、埋蔵文化財の保護意識の向上に努めました。

本書は、令和3年度に実施した事業の内容をまとめたものです。本書が地域の歴史や文化の理解への一助になれば幸いです。

最後になりましたが、ご指導、ご協力をいただいた関係各位にお礼を申し上げますとともに、今後とも当センターの活動に皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年1月

香川県埋蔵文化財センター  
所長 高原 康

# 香川県埋蔵文化財センター年報 令和3年度

## 本文目次

I 組織・施設・決算	1
1 香川県埋蔵文化財センターの組織	1
2 施設の概要	2
3 決算の状況	3
II 事業概要	4
1 埋蔵文化財調査事業	4
城泉遺跡・城泉東遺跡	6
赤坂古墳群	11
笠田竹田遺跡	14
岡遠田遺跡	20
沖南遺跡	24
青海中村遺跡	27
2 普及・啓発事業	31
(1) 展示	31
① 香川県埋蔵文化財センターでの展示	31
② 香川県埋蔵文化財センター以外での展示	31
(2) 発掘現場現地公開	31
(3) 講師の派遣	32
① 体験講座など	32
② その他	32
(4) 体験講座	32
(5) 考古学講座	32
(6) 人材育成講座	32
(7) まいぶんボランティア活動	33
(8) 新聞記事掲載	33
(9) 資料の貸出・利用	33
(10) 職場体験学習・インターンシップ	33
(11) 刊行物	33
(12) ホームページ	33
3 讃岐国府跡調査事業	34
(1) 地域との交流	34
(2) 情報発信	34
(3) 関連行事	34
(4) 讃岐国府跡調査事業調査成果の概要	35
4 地域総合調査研究事業の成果	40

# 挿図目次

第1図	発掘調査遺跡位置図 (1/800,000) ……5	第13図	遺構平面図2 (1/800) ……23
城泉遺跡・城泉東遺跡		沖南遺跡	
第2図	遺跡位置図 (1/25,000) ……6	第14図	遺跡位置図 (1/25,000) ……24
第3図	城泉遺跡 遺構平面図 (1/200) ……7	第15図	遺構平面図 (1/250) ……26
第4図	城泉東遺跡 遺構平面図 (1/300) ……10	青海中村遺跡	
赤坂古墳群		第16図	遺跡位置図 (1/25,000) ……27
第5図	遺跡位置図 (1/25,000) ……11	第17図	遺構平面図 (1/800) ……30
第6図	遺構平面図 (1/150) ……13	讃岐国府跡調査事業	
笠田竹田遺跡		第18図	遺跡位置図 (1/25,000) ……35
第7図	遺跡位置図 (1/25,000) ……14	第19図	近世遺構配置図 (1/200) ……36
第8図	調査区配置図 (1/1,200) ……15	第20図	中世遺構配置図 (1/200) ……37
第9図	遺構配置図 (1/150) ……16	第21図	中世以前遺構配置図 (1/200) ……38
第10図	壁断面及びSB2001・2002平・断面図 (1/100, 1/60, 1/40) ……17	第22図	調査区位置図 (1/2,500) ……39
岡遠田遺跡		地域総合調査事業	
第11図	遺跡位置図 (1/25,000) ……20	第23図	令和3年度踏査対象地位置図 ……40
第12図	遺構平面図1 (1/800) ……22	第24図	荒神島調査地点位置図 ……41
		第25図	荒神島祀遺跡測量図 (1/800) ……41

# 写真目次

城泉遺跡・城泉東遺跡		写真22	16区全景 (北から) ……21
写真1	城泉遺跡完掘状況 (北から) ……9	写真23	16区SD65土師質土器杯出土状況 (北から) ……21
写真2	子持勾玉出土状況 (SK51) (北東から) ……9	沖南遺跡	
写真3	城泉東遺跡1区完掘状況西半 (南東から) ……9	写真24	弥生時代の河川跡完掘 (南から) ……25
写真4	1区完掘状況東半 (南東から) ……9	写真25	中世の建物跡検出 (北から) ……25
写真5	2区完掘状況 (西南から) ……9	写真26	2区南部溝群完掘 (東から) ……25
写真6	井戸で検出した竹 (SE18) ……9	青海中村遺跡	
写真7	井戸から出土した広東碗 ……9	写真27	1区完掘 (北西から) ……28
写真8	陶磁器出土状況 (SX22) (南東から) ……9	写真28	3区楕円形土坑完掘 (南東から) ……28
赤坂古墳群		写真29	4区出水施設 (南から) ……28
写真9	【調査前】古墳検出状況 (南西から) ……12	讃岐国府跡調査事業	
写真10	【調査前】玄室内検出状況 (北西から) ……12	写真30	調査地全景 (東から) ……35
写真11	玄室・天井石検出状況 (北東から) ……12	写真31	鋤溝状遺構群全景 (南から) ……35
写真12	玄室検出状況 (天井石除去後) (南西から) ……12	写真32	39-1トレンチSX01 (西から) ……36
写真13	石室右側壁検出状況 (北東から) ……12	写真33	39-2トレンチSX01 (西から) ……36
写真14	石室基底石付近断ち割りトレンチ掘削状況 (北東から) ……12	写真34	39-2トレンチSX03 (北東から) ……36
笠田竹田遺跡		写真35	39-3トレンチSX04 (▽部分、南から) ……36
写真15	調査区東部全景 (北西から) ……19	写真36	39-2トレンチ溝状遺構 (西から) ……37
写真16	調査区西部全景 (北から) ……19	写真37	39-2トレンチSX02 (北から) ……38
写真17	SB2001・2002全景 (南から) ……19		(白線内 推定遺構残存範囲)
岡遠田遺跡		写真38	39-1トレンチSX02 (西から) ……38
写真18	13区遠景 写真中央がSH13000(東から) ……21		(白線より右 推定遺構残存範囲)
写真19	15区SK40土器出土状況 (南から) ……21	地域総合調査研究事業	
写真20	11区SH11001完掘状況 (南から) ……21	写真39	荒神島祭祀遺跡 1群遺物出土状況 ……41
写真21	7区全景 写真中央がSH7007、左上がSH7020 (北から) ……21		近景 (北から)
		写真40	荒神島祭祀遺跡全景 (北から) ……41
		写真41	直島本島南東部の海岸踏査風景 (北から) ……41

# 表目次

第1表	職員一覧 ……2	第12表	現地説明会一覧 ……31
第2表	発掘調査決算 ……3	第13表	体験講座一覧 ……32
第3表	整理・報告決算 ……3	第14表	講演等への講師派遣一覧 ……32
第4表	管理運営費等決算 ……3	第15表	体験講座実施事業一覧 ……32
第5表	発掘調査遺跡一覧 ……4	第16表	考古学講座一覧 ……32
第6表	遺跡の概要一覧 ……4	第17表	人材育成講座一覧 ……33
第7表	整理・報告遺跡一覧 ……5	第18表	資料貸出・利用一覧 (数字は件数) ……33
第8表	刊行報告書一覧 ……5	第19表	職場体験学習・インターシップ一覧 ……33
第9表	展示一覧 ……31	第20表	情報発信一覧 ……34
第10表	入館者数一覧 ……31	第21表	関連行事一覧 ……34
第11表	センター外展示一覧 ……31		

# 香川県埋蔵文化財センター研究紀要 X

令和 3 年度

## 目 次

備讃瀬戸における高地性集落出土土器の検討 信里 芳紀	42
香川県内出土須恵器の産地推定 白石 純・森本 蓮（岡山理科大学）	60
善通寺市五条遺跡（香川県警察丸亀警察署龍川駐在所地点）発掘調査報告 蔵本 晋司	65

(註)

1 本書で用いる座標系は世界測地系（国土座標第Ⅳ系）で、標高は東京湾平均海水面を基準とした。

2 遺構は次の略号により表示した。

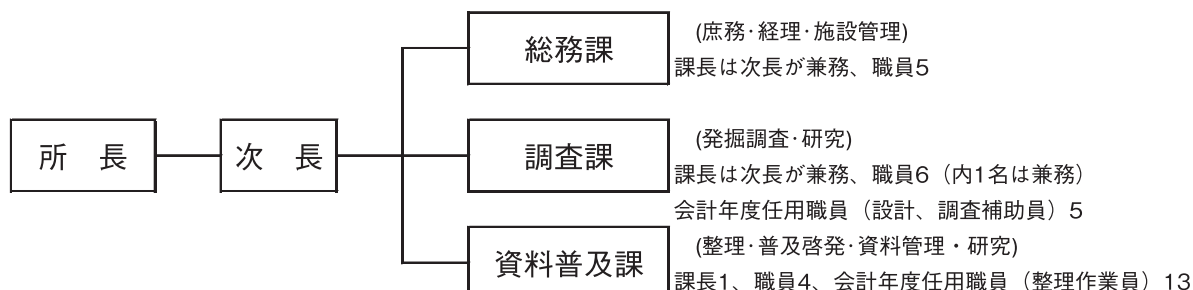
SH 竪穴建物    SB 掘立柱建物    SP 柱穴・小穴    SK 土坑    SE 井戸    SD 溝  
SR 旧河道    SX 性格不明遺構    SF 竈

3 遺跡位置図は国土地理院地形図（1/25,000）に遺跡位置を追記して掲載した。

# I 組織・施設・決算

## 1 香川県埋蔵文化財センターの組織

### (1) 組織



### (2) 職員

令和3年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名
所	所 長	高 原 康
次	次 長	北 山 健 一 郎
総務課	課 長 ( 兼 務 )	北 山 健 一 郎
	副 主 幹	高 橋 範 行
	主 任	石 田 こ ず え
	主 任	松 浦 佐 和
	主 任	寺 尾 一 夫
	主 任	遠 山 豊
調査課	課 長 ( 兼 務 )	北 山 健 一 郎
	主任文化財専門員 (兼務)	小 野 秀 幸
	文化財専門員	長 井 博 志
	文化財専門員	森 格 也
	技 師	谷 本 峻 也
	技 師	稲 垣 僚
	技 師	溝 上 千 穂
	会計年度任用職員 (設計)	熊 野 博 実
	会計年度任用職員 (調査補助員)	今 井 由 佳
	会計年度任用職員 (調査補助員)	名 倉 美 保
	会計年度任用職員 (調査補助員)	徳 永 貴 美
	会計年度任用職員 (調査補助員)	正 本 由 希 子

資料普及課	課長	信里 芳紀
	主任文化財専門員	蔵本 晋司
	主任文化財専門員	小野 秀幸
	文化財専門員	山元 素子
	文化財専門員	森下 友子
	会計年度任用職員（整理作業員）	北濱 敦子
	会計年度任用職員（整理作業員）	小早川 真由美
	会計年度任用職員（整理作業員）	土井 美穂
	会計年度任用職員（整理作業員）	中野 優美
	会計年度任用職員（整理作業員）	加藤 恵子
	会計年度任用職員（整理作業員）	大山 和子
	会計年度任用職員（整理作業員）	小林 奈充子
	会計年度任用職員（整理作業員）	山本 基公美
	会計年度任用職員（整理作業員）	佐立 晶子
	会計年度任用職員（整理作業員）	池内 妙子
	会計年度任用職員（整理作業員）	大林 真沙代
	会計年度任用職員（整理作業員）	森 后代
会計年度任用職員（整理作業員）	池田 匠	

第1表 職員一覧

## 2 施設の概要

(1) 所在地 香川県坂出市府中町字南谷 5001-4

(2) 敷地面積 11,049.23㎡

### (3) 建物構造・延床面積

①本館	鉄筋コンクリート造・2階建 (一部鉄骨造・平屋建)	1,362.23㎡
②分館	軽量鉄骨造・2階建	337.35㎡
③第1収蔵庫	鉄骨造・2階建	1,525.32㎡
④第2収蔵庫	鉄骨造・3階建	2,040.33㎡
⑤車庫	鉄骨造・平屋建	29.97㎡
⑥自転車置場	鉄骨造・平屋建	25.00㎡

### 3 決算の状況

(単位：千円)

原因者	遺跡名	決算
国土交通省	城泉・城泉東遺跡・赤坂古墳群	31,115
道路課	岡遠田遺跡	53,352
	青海中村遺跡	34,397
	沖南遺跡	24,561
高校教育課	笠田竹田遺跡	2,069

※職員人件費は除く。

第2表 発掘調査決算

(単位：千円)

原因者	遺跡名	決算
国土交通省	内間遺跡	23,275
	城泉遺跡（基礎整理）	3,906
道路課	横井南原遺跡外	24,974
	岸の上遺跡	22,643
	沖・沖南遺跡（基礎整理）	1,870
特別支援教育課	旧練兵場遺跡（整理・報告書）	6,761

※職員人件費は除く。

第3表 整理・報告決算

(単位：千円)

事業名		決算
管理運営費等	管理運営費	4,821
	職員給与費	112,829
	讃岐国府跡調査事業	7,301
	地域総合調査研究事業	995
合	計	125,946

第4表 管理運営費等決算



## II 事業概要

### 1 埋蔵文化財調査事業

発掘調査を分掌する調査課では調査班2班を編成し、国道バイパス建設、県所管国道整備、県道整備に伴う5遺跡の発掘調査を行った。また、緊急に調査が必要となった笠田高校改築に伴う笠田竹田遺跡の発掘調査と岡遠田遺跡のため池の堤体部分の発掘調査も追加で実施した。

一方、報告書作成を分掌する資料普及課では整理班2班を編成し、国道バイパス建設、県所管国道整備、県道整備、養護学校移転に伴う7遺跡の整理及び1冊の報告書の刊行を行った。

原因者	事業名	遺跡名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間
国土交通省	国道11号 大内白鳥 バイパス	城泉・城泉東遺跡	東かがわ市白鳥	1,527	6月～9月
		赤坂古墳群	東かがわ市帰来	400	10月～11月
道路課	国道438号	岡遠田遺跡	丸亀市飯山町	3,818	4月～6月 11月～3月
		沖南遺跡	丸亀市飯山町	1,749	12月～3月
	高松坂出線	青海中村遺跡	坂出市青海町	2,242	7月～11月
高校教育課	笠田高校 改築	笠田竹田遺跡	三豊市豊中町	510	6月

第5表 発掘調査遺跡一覧

遺跡名	遺跡の概要	主な遺構・遺物
城泉東遺跡	鎌倉～江戸時代の集落遺跡	柱穴跡、溝状遺構、井戸跡等 縄文土器、陶磁器等
城泉遺跡	古墳時代の集落遺跡	掘立柱建物跡、溝状遺構等 土師器、子持勾玉、白玉等
赤坂古墳群	移築された古墳	移築された横穴式石室
岡遠田遺跡	弥生～室町時代の集落遺跡	竪穴建物跡、掘立柱建物跡、廃棄土坑 弥生土器、須恵器、土師器、玉類等
沖南遺跡	弥生～室町時代の集落遺跡	河川跡、溝状遺構、掘立柱建物跡等 弥生土器、石器、須恵器、土師器、陶磁器等
青海中村遺跡	鎌倉～明治時代の集落遺跡	柱穴跡、石組貯水施設等 須恵器、土師器、陶磁器等
笠田竹田遺跡	弥生～古墳時代の集落遺跡	掘立柱建物跡等 須恵器、土師器等

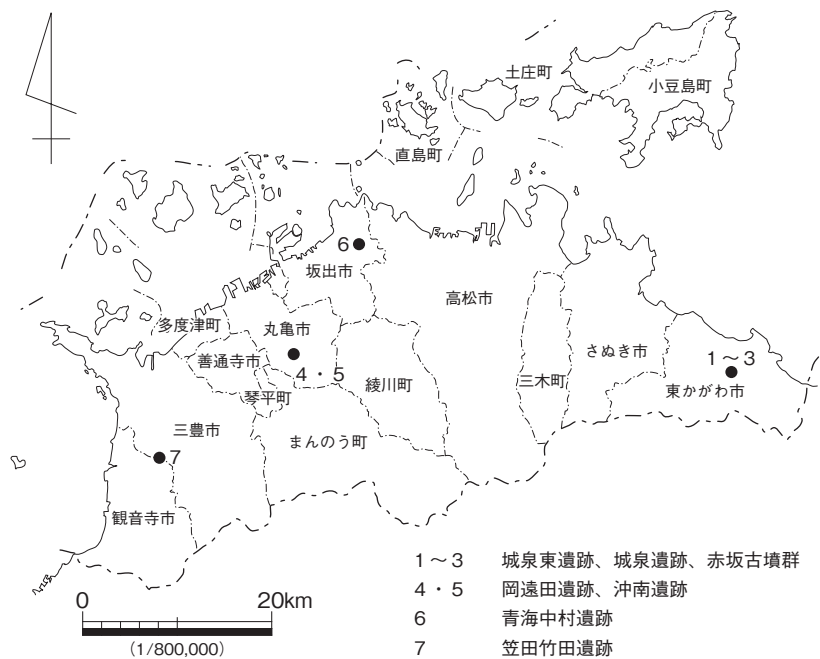
第6表 遺跡の概要一覧

原因者	遺跡名	所在地	整理期間
国土交通省	内間遺跡	東かがわ市湊	5月～11月
道路課	横井南原遺跡	高松市香南町	10月～3月
	上道池東遺跡	高松市香南町	10月～3月
	池内古田遺跡	高松市香南町	12月～3月
	池内御所原遺跡	高松市香南町	12月～3月
	岸の上遺跡	丸亀市飯山町	4月～9月
特別支援教育課	旧練兵場遺跡	善通寺市善通寺町	4月

第7表 整理・報告遺跡一覧

書名
県立善通寺養護学校移転に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 旧練兵場遺跡 (第26次調査)
香川県埋蔵文化財センター年報 令和2年度
埋蔵文化財試掘調査報告33 令和2年度 香川県内遺跡発掘調査

第8表 刊行報告書一覧



第1図 発掘調査遺跡位置図 (1/800,000)

しろいずみ しろいずみひがし  
城泉遺跡・城泉東遺跡

城泉遺跡・城泉東遺跡は、東かがわ市白鳥に位置する。国道11号大内白鳥バイパス建設に伴い、令和3年6月～9月の期間、発掘調査を実施した。城泉遺跡は平成23年度から断続的に調査を実施してきた遺跡で、今回は4次調査となった。両遺跡は、讃岐山脈北縁部の石槌山(標高267m)より北へ延びる舌状丘陵の北端、沖積平野との接点の丘陵上及びその東斜面部に位置する。調査面積は城泉遺跡が320㎡、城泉東遺跡が1,207㎡である。調査区は工程の都合から3つに分け調査を行った。



第2図 遺跡位置図(1/25,000)

#### 城泉遺跡

これまでの調査は遺跡の西側から順に実施しており、平成23年度の調査では弥生時代後期～7世紀中頃まで機能したとみられる旧河道や、旧河道が埋まった後に営まれた小規模な集落跡が見つかった。また、平成30年度の調査では竪穴建物跡が5棟見つかったことで古墳時代中期に集落があったことが分かった。そして、令和2年度の調査では古墳時代中期の集石土坑や古墳時代中期以前の焼土坑が見つかった。

今年度の調査の結果、遺構検出面を2面確認した。第1遺構面では数基の柱穴と溝を1条検出したものの、明確な年代の基準となる遺物は出土しなかった。一方、第2遺構面では古墳時代中期の集落跡や後期の土坑が見つかった。

古墳時代中期の集落跡を構成する遺構として、総柱建物跡1棟(SB40)、溝状遺構1条や柱穴跡が見つかった。総柱建物跡の規模は梁間2間(4.2m)×桁行3間(4.5m)の正方形に近い形で、遺物は建物跡を構成する柱穴から土師器高杯や小型丸底壺の小片が出土している。総柱建物で平面形が正方形に近いことから、物資を保管する倉庫として利用されたと推定できる。

古墳時代後期に位置付けられる土坑1基(SK51)は調査区の北西隅で検出した。この土坑で特筆すべき点は祭祀具である滑石製の子持勾玉1点・白玉17点が出土したことである。子持勾玉は古墳時代後期に位置づけられるもので、長さ約8cm×厚さ約1.5cmで、身が斜めに傾いた状態で出土した。

今回の調査で発見した古墳時代中期の集落跡は、これまでの調査で見つかった集落跡に関連すると考えられる。また、出土した子持勾玉は香川県内で初例の可能性のある貴重な資料である。

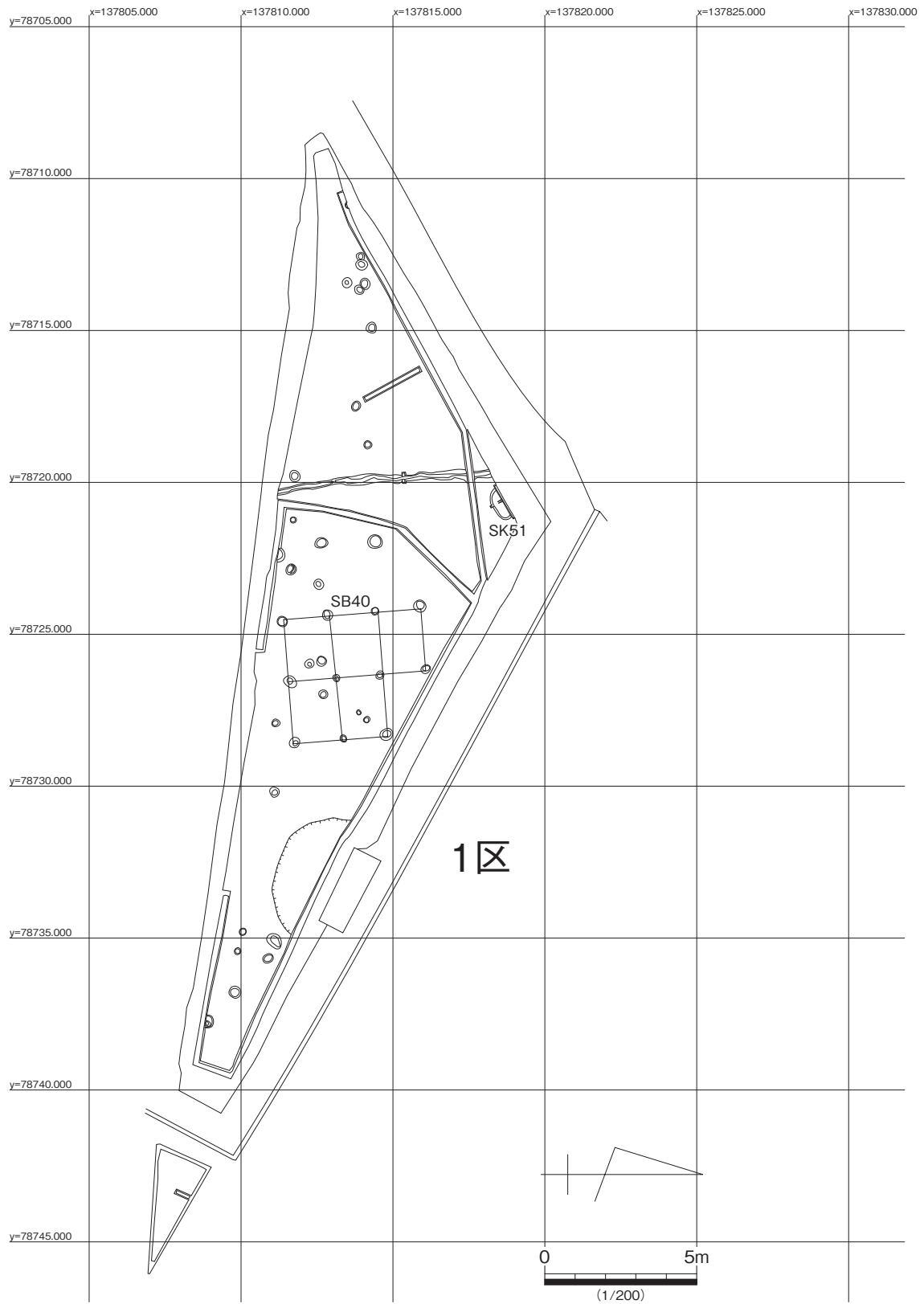
#### 城泉東遺跡

城泉東遺跡は城泉遺跡の数m東に位置する遺跡で調査の結果、江戸時代の集落跡を中心として、縄文時代～江戸時代までの遺構・遺物を確認した。調査区は現在でも利用されている生活道路を基準として西側を1区、東側を2区に分割して、調査を行った。

##### 〈1区〉

調査の結果、遺構検出面を2面確認した。第1遺構面は調査区の北部のみに広がる小規模なもので、

検出した遺構も数基の柱穴や溝で、明確な年代を示す遺物は出土していない。第2遺構面も同様に遺構は希薄で、特筆すべき遺物も出土していない。しかし、埋土がグライ化した土坑が1基（SK09）と溝



第3図 城泉遺跡 遺構平面図 (1/200)

の端を掘り下げた遺構が一ヶ所（SD01）見つかったため、土坑に水を貯めるなどして土地利用をしていた可能性がある。

#### 〈2区〉

調査の結果、江戸時代の遺構を数多く確認した。中でも特筆すべき遺構は竹が突き刺さった状態で見つかった井戸（SE18）である。この竹は節がくり抜かれ中空となっており、このように竹を突き刺さす背景には土中のガス抜きといった実用的な理由や、息抜きの竹といったように土中の神様が息をできるようにといった信仰的な理由があると考えられる。また、井戸内の堆積土からは18世紀末～19世紀初頭に位置づけられる広東碗が出土しており、年代の指標となる。

さらに、井戸の他にも陶磁器が一定数出土し、水が多量に湧き出る上に井戸特有の土層堆積をするため井戸の可能性のある性格不明遺構（SX22）がある。

#### 〈下層確認〉

今回の調査では、城泉東遺跡1区のSK09を掘削中に縄文晩期の土器片が1点出土した。そのため、下層に縄文時代の遺構がある可能性があると考え、2区で下層確認を実施した。その結果、遺構を確認するまでには至らなかったものの、縄文中期の土器片が1点、SX22の北側から出土した。

今回の調査で、2区から検出した複数の遺構から数多くの陶磁器類が出土したことから、江戸時代後期に集落跡があったことが明らかになった。また、1区についても遺構面の土色が類似する点から1区も含めた集落跡だったと考えられる。さらに、下層確認で出土した縄文土器は遺構に伴わない上に異なる時期のものが2点出土したことから流水などによって運ばれてきた可能性がある。



写真1 城泉遺跡完掘状況（北から）



写真2 子持勾玉出土状況（SK51）（北東から）



写真3 城泉東遺跡1区完掘状況西半（南東から）



写真4 1区完掘状況東半（南東から）



写真5 2区完掘状況（西南から）



写真6 井戸で検出した竹（SE18）

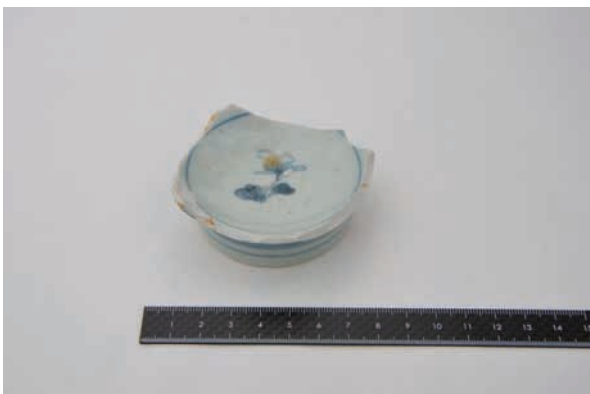
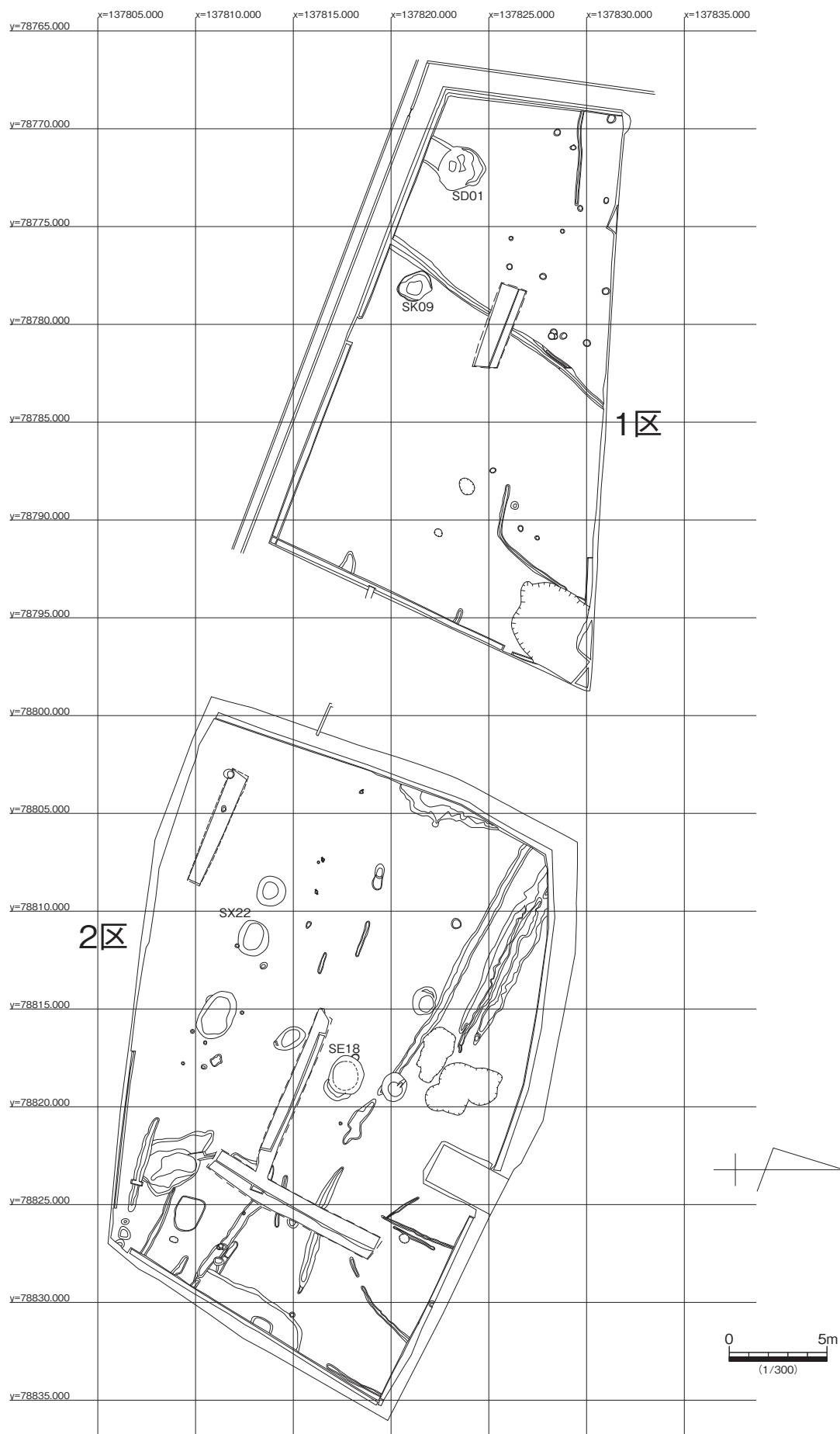


写真7 井戸から出土した広東碗



写真8 陶磁器出土状況（SX22）（南東から）



第4図 城泉東遺跡 遺構平面図 (1/300)

## あかさか 赤坂古墳群

赤坂古墳群は、東かがわ市帰来に位置する。「白鳥町史」では古墳時代後期から終末期にかけて営まれた小規模な群集墳とされる。今回、国道11号大内白鳥バイパス建設に伴い、その1基について発掘調査を実施した。本墳は南北に延びる大きな丘陵から東側に派生する尾根の斜面部に立地する。



第5図 遺跡位置図 (1/25,000)

調査対象となった古墳は横穴式石室墳であり、現状では宅地の一角に位置する。本墳が構築された斜面は本来、勾配がきついものの、宅地造成が行われた結果、本墳の周囲は平坦化されていた。また、調査前の状況

としては、玄室とこれに伴う天井石の付近に盛土が残存していた。そして、玄室の東側にはさらに古墳本来のものとは考えられない盛土と石垣も見られた。その一方で、羨道はほとんど失われていた。

このように後世の改変が大きい本墳については、地元の郷土史家が記した「白鳥昔語り」などに下記のような記述がある。

「昭和40年代に古墳が所在する畑の所有者たちが石室内を掘削し、床面に礫が敷き詰められていることを確認した。また、この際に須恵器の杯・壺・提瓶・ハソウ等が出土した。その後、昭和40～50年代に畑の造成により、古墳が損壊したため、地元の有志が復元した。」

これらの記載より、古墳はある程度破損していると予測された。ただ、具体的な破損状況は不明であるため、比較的旧状を留めるように見える玄室付近を調査の主眼としつつ、後世の破損部分を見極めながら発掘調査を進めた。

調査の結果、本墳で見られる石室および墳丘盛土は全て後世の構造物であると考えられる。

このように判断した理由は、①石室の奥壁・側壁や天井石の組み方が非常に粗い。②古墳が所在する畑の所有者たちが確認した礫床が見られない。③墳丘の盛土はかなりしまりが悪い黄褐色土・茶褐色土であり、これらの土層からは近代以降に属する陶器片やコンクリート片が出土した。④玄室と羨道の全ての基底石について付近の堆積土に対する断ち割りトレンチを掘削し、本来の盛土や床面整地土などの有無を確認したものの、墳丘の盛土と同様にかなりしまりが悪い黄褐色土しか確認できなかった。特に、④は古墳の築造当初の状況をうかがうものであるが、このような状況であった。このため、古墳全体が本来の状況をとどめていないと判断した。

また、古墳の解体終了後、周辺部も含めて未確認の基底石やその抜き取り穴等の検出を試みたが、確認できなかった。

ただ、「白鳥昔語り」では破損した古墳を復元したことが記されている。このため、今回調査した石室の石材はこの古墳本来のものが多く転用されたと考えられる。また、これらの石材には1mを超える大形のものも含まれることから、古墳が構築されていた位置もこの付近であったと見られる。



## まとめ

地元で「復元古墳」とも呼称されていた本墳について発掘調査を実施した結果、残存していた石室および墳丘盛土は全て後世の構造物であると明らかになった。ただ、石室の復元に際しては、古墳本来の石材が多く転用されたと見られる。また、古墳の本来の所在地も近隣であったと判断された。

赤坂古墳群のうち、別の1基は本墳の南東約100mの位置に現存する。やはり横穴式石室墳であり、玄室付近が残存している。今後は本墳の調査で得られた知見を踏まえながら、赤坂古墳群を東かがわ市域の古墳時代の中で位置づけることが必要である。



写真9 【調査前】古墳検出状況（南西から）



写真10 【調査前】玄室内検出状況（北西から）



写真11 玄室・天井石検出状況（北東から）



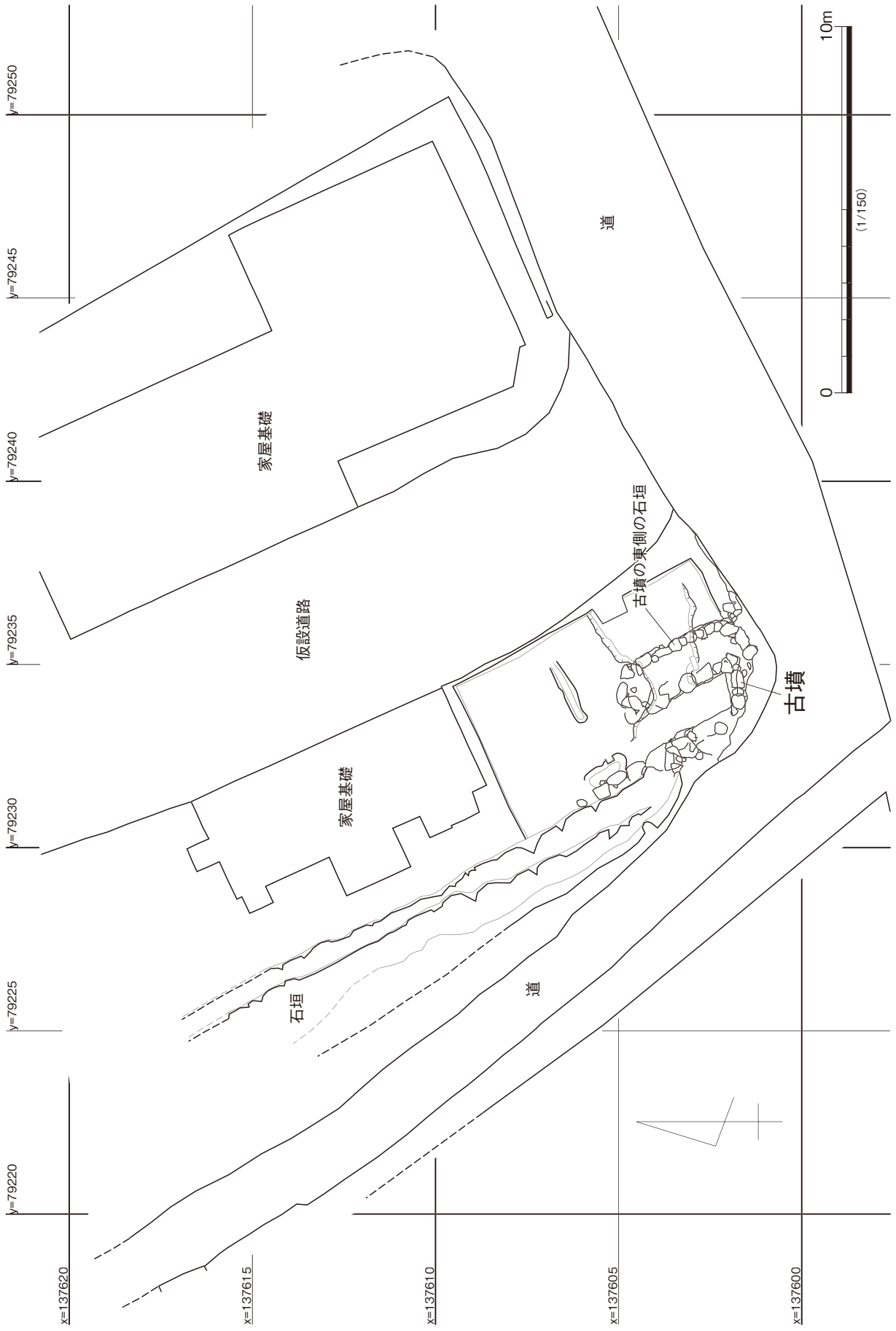
写真12 玄室検出状況（天井石除去後）  
（南西から）



写真13 石室右側壁検出状況（北東から）



写真14 石室基底石付近断ち割りトレンチ掘削状況（北東から）



第6図 遺構平面図 (1/150)